



今、わたしたちにできること。
～大牟田市災害ボランティアセンターへの職員派遣より～

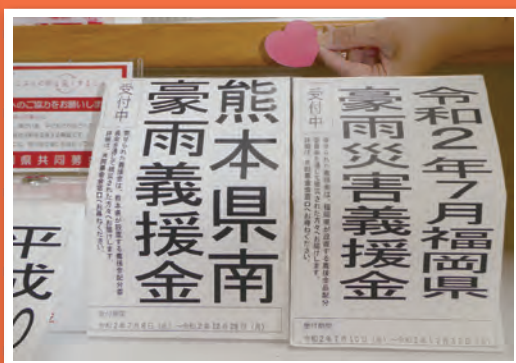
▲大牟田市災害ボランティアセンター

7月に発生した豪雨災害は、九州各地に甚大な被害をもたらしました。福岡県内では、久留米市と大牟田市に災害ボランティアセンターが設置され、広川町社会福祉協議会からは、大牟田市災害ボランティアセンターへ2名の職員派遣を行いました。

現地では、被災された地域のニーズ調査や、集まっていたいた災害ボランティアの皆さまの活動先の調整など、災害ボランティアセンターの運営支援に携わり、その中で、被災地の復旧・復興、そして被災された住民の皆さまの暮らしの再建には『人と人とのつながり』が、いかに大切であるかということ、改めて強く感じました。

新型コロナウイルス感染拡大下にある現状で、各地域の災害ボランティアセンターでは、災害ボランティアの募集エリアを限定したり、被災現場における少人数での活動など、これまでのような運営状況にはいかなないながらも、様々な対策・工夫をされながら支援活動が行われています。

被災された地域の一日も早い復旧・復興を心から願い、皆さまと一緒にになりまして、私共も引き続き、できる限りの支援を継続してまいりたいと考えております。



社会福祉協議会では、被災された方々を支援することを目的として、義援金の募集を行っております。

募金箱は、広川町保健・福祉センターはなやぎの里1階に設置しております。皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



令和元年度 広川町社会福祉協議会事業報告

広川町社会福祉協議会では、広川町地域福祉計画・広川町社会福祉協議会地域福祉活動計画を行動指針とした令和元年度本会事業計画に基づきまして、だれもが安心して健やかに暮らし続けていける福祉のまちづくりの実現に向け、事業に取り組みました。

■地域福祉事業

誰もが安心して暮らすことができる「ふくしのまちづくり」を理念とし、住民の皆さまとともに行政等関係機関と連携を図りながら、地域福祉活動の推進・充実に取り組みました。

- ▶地域福祉活動計画に基づく地域福祉の推進
- ▶地域包括ケアシステムの構築
- ▶地域共生社会の実現に向けた取り組み
- ▶高齢者福祉の推進
- ▶当事者課題への支援
- ▶福祉教育・福祉学習の推進
- ▶相談支援事業



▲ふくし教育「ゲストティーチャー」

■在宅福祉サービス事業

地域の皆さまの在宅生活を支えるため、在宅福祉サービスの提供に取り組みました。また、関係機関と連携し、サービス調整を図りながら、総合的なケア体制の充実に取り組みました。

- ▶介護保険事業
(居宅介護支援事業)
(訪問介護事業)
(通所介護事業)
- ▶障害者総合支援事業
- ▶広川町介護予防教室
- ▶いきいき元気教室事業
- ▶広川町生活管理指導員派遣事業



▲いきいき元気教室

■ボランティア活動促進事業

「広川町ボランティア活動センター運営計画」に基づき、ボランティア活動の普及・啓発、ボランティアの育成及びボランティア活動の支援、ボランティア団体相互の連携促進に取り組みました。

また、令和元年度は、一般社団法人八女青年会議所との災害時相互協力協定の締結、福岡県総合防災訓練における他機関との連携による災害ボランティアセンター設置訓練、8月の前線に伴う大雨災害における災害ボランティア活動に取り組みました。

- ▶ボランティア活動センター事業
- ▶高齢者のいきがいと健康づくり推進事業
- ▶災害ボランティアに関する事



▲ボランティア講座

■福祉関係団体支援事業

福祉関係団体と連携を図りながら、よりよい「ふくしのまちづくり」の実現に向け、福祉関係団体の活動支援、協働体制づくりに取り組みました。

- 【関係団体】
- ▶広川町民生委員・児童委員協議会
- ▶広川町老人クラブ連合会
- ▶広川町身体障害者福祉協会
- ▶広川町遺族会
- ▶広川町心身障害児者父母の会
- ▶広川町母子寡婦福祉会



▲広川町老人クラブ連合会福祉大会

■広報・啓発活動事業

住民の皆さまが福祉の情報を効果的に得られるよう、広報誌やホームページ、福祉イベントの参画など、様々な手段を用いて広報・啓発の充実に取り組みました。

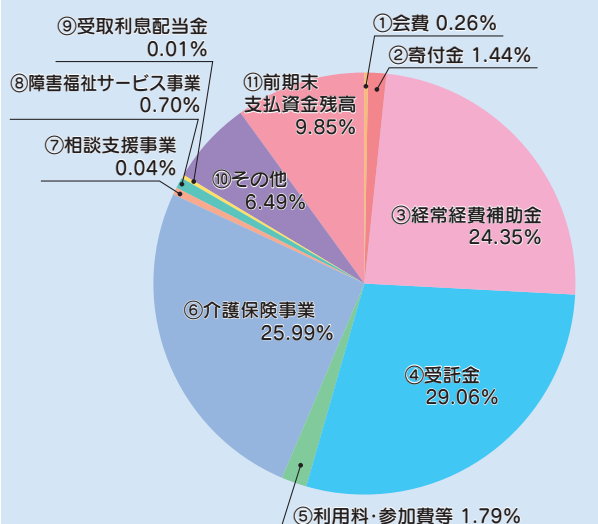
- ▶「社協だより」の発行(年4回)
- ▶社協ホームページの運用
- ▶SNS (Facebook) の運用
- ▶広報テープの貸与
- ▶福祉イベントへの参加



▲ホームページ(左)、Facebook(右)

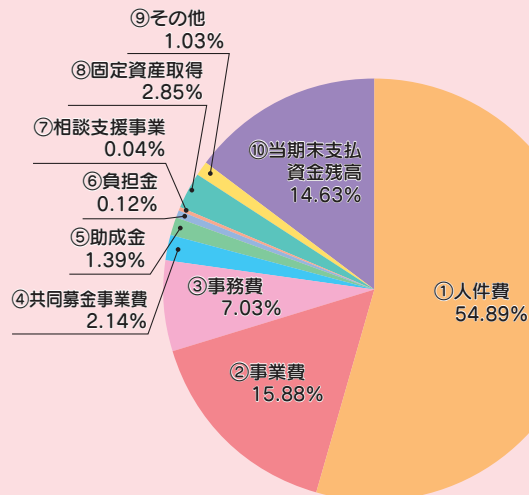
令和元年度 広川町社会福祉協議会 決算報告

歳入総額 208,379円



① 会費	551千円
② 寄付金	3,001千円
③ 経常経費補助金	50,749千円
④ 受託金	60,563千円
⑤ 利用料・参加費等	3,725千円
⑥ 介護保険事業	54,153千円
⑦ 相談支援事業	78千円
⑧ 障害福祉サービス事業	1,469千円
⑨ 受取利息配当金	28千円
⑩ その他	13,529千円
⑪ 前期末支払資金残高	20,533千円

歳出総額 208,379円



① 人件費	114,377千円
② 事業費	33,090千円
③ 事務費	14,647千円
④ 共同募金事業費	4,465千円
⑤ 助成金	2,899千円
⑥ 負担金	251千円
⑦ 相談支援事業	78千円
⑧ 固定資産取得	5,942千円
⑨ その他	2,145千円
⑩ 当期末支払資金残高	30,485千円

なのはなカフェ



～新型コロナウイルス感染予防に留意し
7月より再開いたしました～

認知症の方やその家族、地域住民・専門職の方など誰もが気軽に集い、交流できる場です。
お茶を飲みながら、情報交換や認知症についての正しい理解を深めたり、相談もできます。

● 日 時

毎月最終月曜日
※祝日の場合は前の週の月曜日
13:30～15:30

● 参加費

無料
※イベント等実費負担の場合あり

● 実施場所

保健・福祉センター
「はなやぎの里」1階休憩室

Menu

- ・健康自己チェック
- ・認知症自己チェック
- ・ちょっと脳トレ
- ・おしゃべり♡

介護者カフェ
も同時開催中！

【お問合わせ】

広川町社会福祉協議会
☎ 0943-32-3768 ・ ☎ 0943-32-1175

※新型コロナウイルスの今後の感染状況によりましては、開催を中止する場合がございます。ご了承ください。

コロナに負けない！

～デイサービスにおける感染対策～



デイサービスでは、皆さまに安心してご利用いただけますよう、感染症予防対策に努めております。

- 換気の徹底
- 三密（密閉・密集・密接）の回避
- 手洗い・手指消毒の徹底
- 備品・補助具などの定期的な消毒
- 体調管理の徹底 など



ご利用者さま・ご家族さまには、ご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

デイサービスでは、今後も上記内容に十分留意し、事業を実施してまいります。

【お問合わせ】

通所介護事業所 ☎ 0943-32-7072

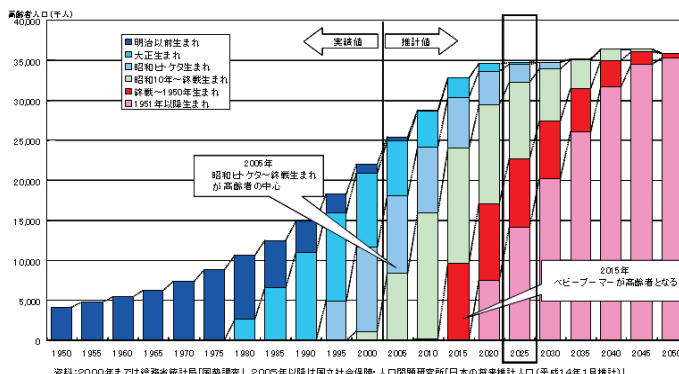
※体験利用・新規のご相談は、随時受付ております！

地域支え合いだより

■ なぜ、今支え合いが必要なの？

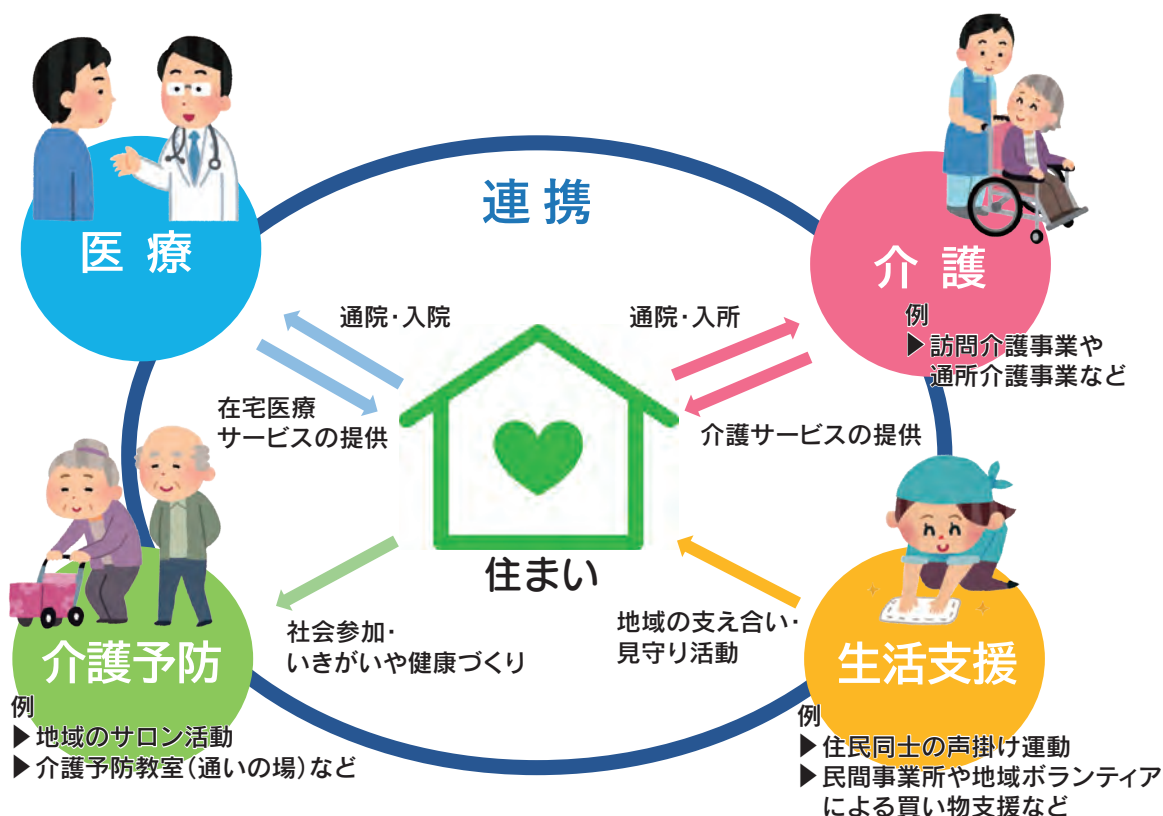
日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しており、団塊の世代が75歳以上とされる2025年以降は、医療・介護の需要がさらに増加することが見込まれています。

このような状況の中で、高齢になっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくためには、必要な医療・介護・福祉サービスなどが一体的に提供される体制づくり、また、すべての世代で支え・支えられる地域づくりを進めていくことが重要となっています。そのための仕組みづくりを「地域包括ケアシステム」といいます。



暮らしやすい地域づくり～地域包括ケアシステムのイメージ～

「地域包括ケアシステム」は、各市町村で、その地域の特性に応じて創り上げていくものです。



このように、システムの構築には、「住まい」を中心とし、必要に応じた「医療」や「介護」を受けられる環境、また、いつまでも元気で暮らすための「介護予防」の取り組み、日常の暮らしを支え自立を支援するための「生活支援」、これら5つの要素が連携した一体的な支援体制づくりが必要となります。

今号より、この地域包括ケアシステムの構築に向けて、町内で取り組まれている様々な支え合い活動や、地域でのつながりや健康・いきがいづくりを目的とした活動等を取り上げ、「地域支え合いだより」として随時発信していきます。

地域密着！！～支え合いレポート～

みんなの暮らしをよりよくするために、地域では様々な人が関わり合いながら、新しい支え合いの取り組み・仕組みが生まれています。

ここでは、地域で取り組まれた内容を、地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）がレポートいたします！

地域密着！



▲体験会の様子【(左)逆セ谷、(右)北新代、(下)鬼ノ淵】

エフコープによる 移動店舗販売体験会 を実施しました！

高齢化の進行、高齢者ドライバーの免許の自主返納の推奨等、様々な社会的背景により日常的な買い物の困難な方が増加傾向にあります。

このような問題を解決するために、去る6月19日（金）、広川町とエフコープ生活協同組合が移動店舗販売に関する協定を締結しました。本協定は、冷蔵機能を備えたエフコープの販売車が定期的に町内をまわり、地域の皆さまの買い物を支援するものです。

まずは、皆さまに実際に見ていただけるような機会をつくりたいと考え、要望のあった14行政区において、エフコープによる移動店舗販売体験会を実施いたしました。

地域支え合い
推進員より



参加された方からは、「車の運転をやめたので助かる。」「近所の人と久々に会えたので、待ってる時間も楽しかった！」といった声が聞かれました。

移動販売は、秋頃の開始を予定しており、実施に向け地域の方々と話し合いを進めていきます。

毎日ちょいトレ！自宅でできる介護予防体操

新型コロナウイルス感染症予防のため、外出をお控えの方も多いかと思います。しかしながら、「動かない」生活状態が続くことにより、心身の機能が低下し「動けなくなる」ことが危惧されます。

ここでは、自宅でできる筋トレやストレッチを紹介します。毎日の生活習慣にちょっととり入れて、体力の衰えを予防しましょう！

かかとを上げる運動

立って行う場合は、椅子の背もたれ等につかまって、かかとを10回上げます。

かかとをあげることで、“第2の心臓”と言われる、ふくらはぎの筋肉が鍛えられます。

また、下半身の血流を良くする働きがあり、代謝があがることで脂肪燃焼や冷え性の予防にもつながります。



▲座って実施する場合

自宅で楽しく介護予防ができる「広川まち子ちゃん元気アップ体操」のDVDお貸出し可能です！

お気軽にご相談ください♪



寄付へのお礼

令和2年5月1日～令和2年7月31日 受付分

社会福祉協議会へのご寄付をいただきました。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

〈香典返し寄付〉

ご芳名をご紹介させていただき、故人のご冥福を心からお祈りいたします。

行政区	親族	故人
清楽茶屋	中村 正子様	堅 一様
鬼ノ瀧	原野 久子様	幸 美様
梯	篠原 一代様	安 雄様
吉里	森山カズ子様	義 明様
増永	田中 俊充様	景 明様
吉常	廣田ヤヨイ様	五 郎様
鬼ノ瀧	重野 國子様	正 敏様
太田	大石 房美様	井上吉巳様
太田	大石 房美様	井上フミカ様
吉常	中村 一孝様	登喜子様
川瀬北	堤 よしゑ様	浩 敏様
川瀬	川島エイ子様	督 明様
鬼ノ瀧	野中 公敏様	テルミ様
当条	田中 光輝様	初 枝様
扇島	新谷 良子様	清 子様
太原	伊藤 正美様	文 子様
久泉	光益ヨシ子様	上野フミ子様
鬼ノ瀧	原野 哲明様	和 行様
太原	丸山 景香様	征 男様
長延上	丸山 誠二郎様	文 子様
吉常	辻 久夫様	キミエ様
太田	富久 高明様	富ミツル様
当条	石崎久美男様	石崎ヨソエ様
藤田	池尻マリ子様	一 磨様
逆瀬谷	田中 富利様	円 様

〈一般寄付〉

○長延下 池崎 健洋様
○小郡市 才所 敬朗様

災害支援物資・災害義援金を 寄贈いただきました

川瀬女性の会の皆さまから、「この度の令和2年7月豪雨により被害を受けられた地域へ届けてほしい。」と、災害支援物資（タオル、トイレットペーパー等の生活用品）と災害義援金を本会までお寄せいただきました。

また、八女青年会議所（八女JC）様からは、災害支援物資として殺菌・消毒に用いられる「スーパー次亜水」を寄贈いただきました。

お寄せいただきました支援物資は、本会を通して、被災された地域の方へお渡しいたします。

また、災害義援金につきましては、福岡県が設置する義援金品配分委員会を通じて被災された方々へ届けられます。

被災地の一日も早い復旧・復興を願うとともに、今回ご支援・ご協力を賜りました皆さまのご厚意に心から感謝申し上げます。



▲川瀬女性の会より寄贈



▲八女青年会議所より寄贈

“感染防止に役立てて” 消毒液を寄贈いただきました

福岡県宅建協会県南支部様より、新型コロナウイルス感染防止に活用してほしいと、本会に「アルコール消毒液」を12本寄贈いただきました。

消毒液は、皆さまに安心してご来館いただけますよう、はなやぎの里館内の各所に設置させていただきました。ご支援に心から感謝申し上げ、引き続き、感染対策に努めてまいります。

